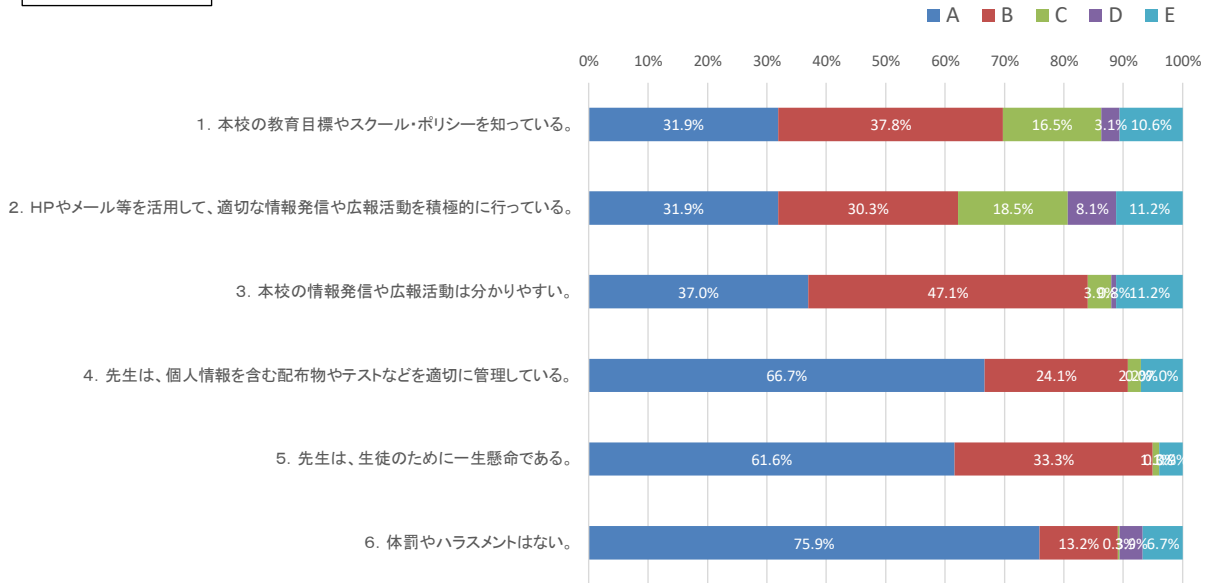


# 令和7年度 生徒を対象とするアンケート(7月実施) 結果

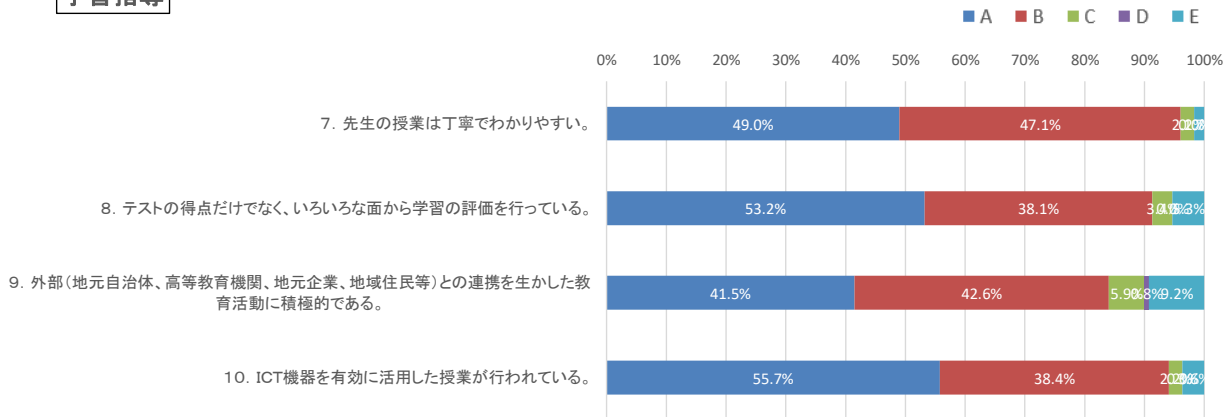
有効回答数357件(回答率100%)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない E:わからない

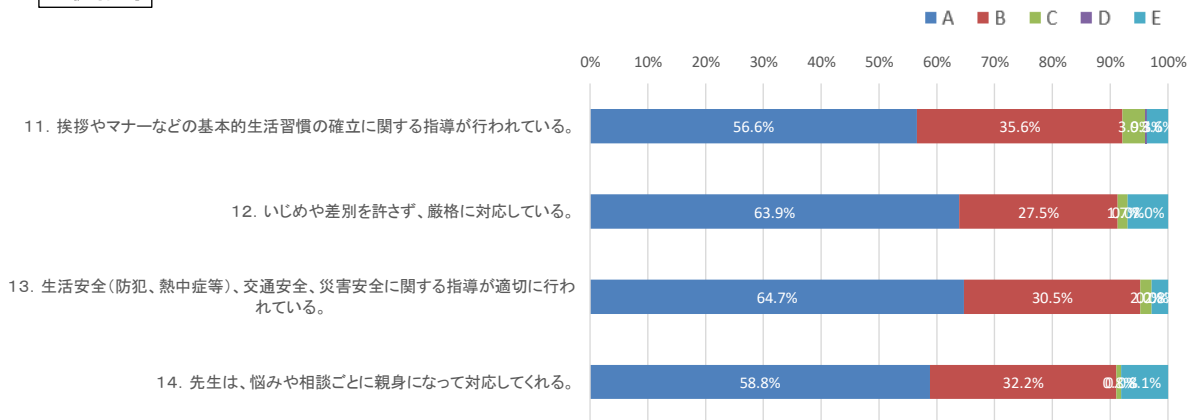
## 学校の活動全体



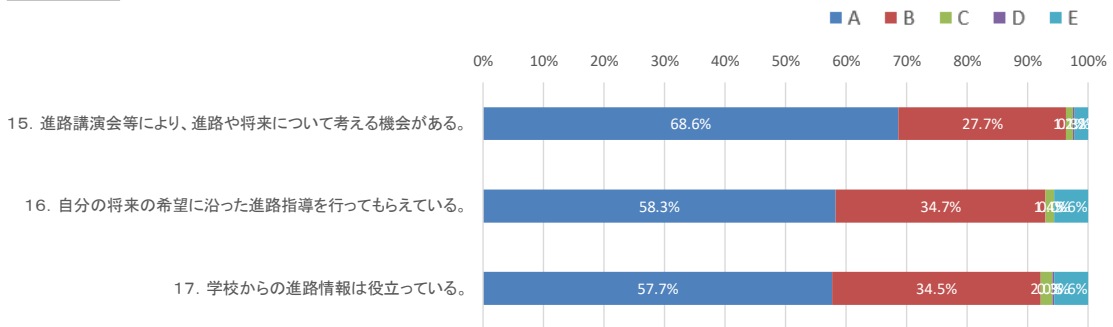
## 学習指導



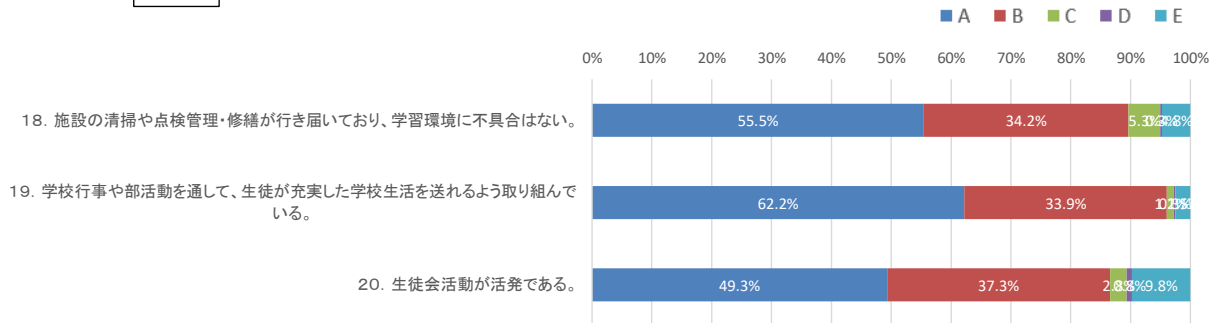
## 生徒指導



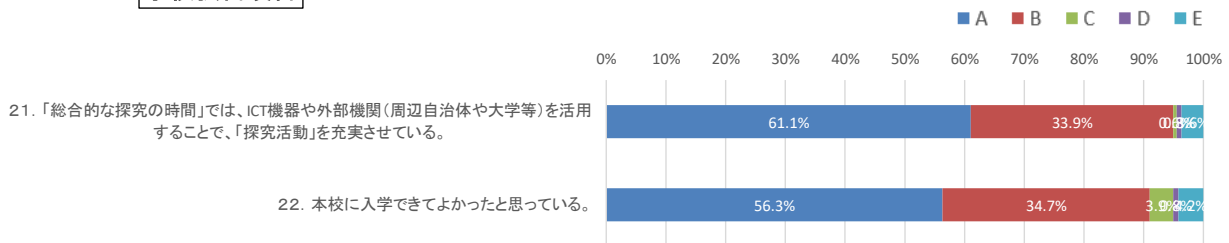
## 進路指導



## その他



## 学校独自項目



### 【肯定的評価が90%以上の項目数について】

令和6年度は項目7, 10, 11, 15, 16, 17

令和7年度については、項目4, 5, 7, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22

⇒今年度は、昨年度の6項目に加えて、新たに10項目について9割を超える肯定的評価を得た。また、昨年度と比較して肯定的評価の割合が全22項目すべてにおいて上昇していることから、非常に多くの生徒が学校生活を肯定的に捉えていることが分かる。

### 【肯定的評価が75%未満の項目】

1. 本校の教育目標やスクールポリシーを知っている。(70%)

### 【「E：わからない」の回答率が比較的多い項目】

1. 本校の教育目標やスクール・ポリシーを知っている。(10.6%)
2. HPやメール等を活用して、適切な情報発信や広報活動を積極的に行っている。(11.2%)
3. 本校の情報発信や広報活動は分かりやすい。(11.2%)

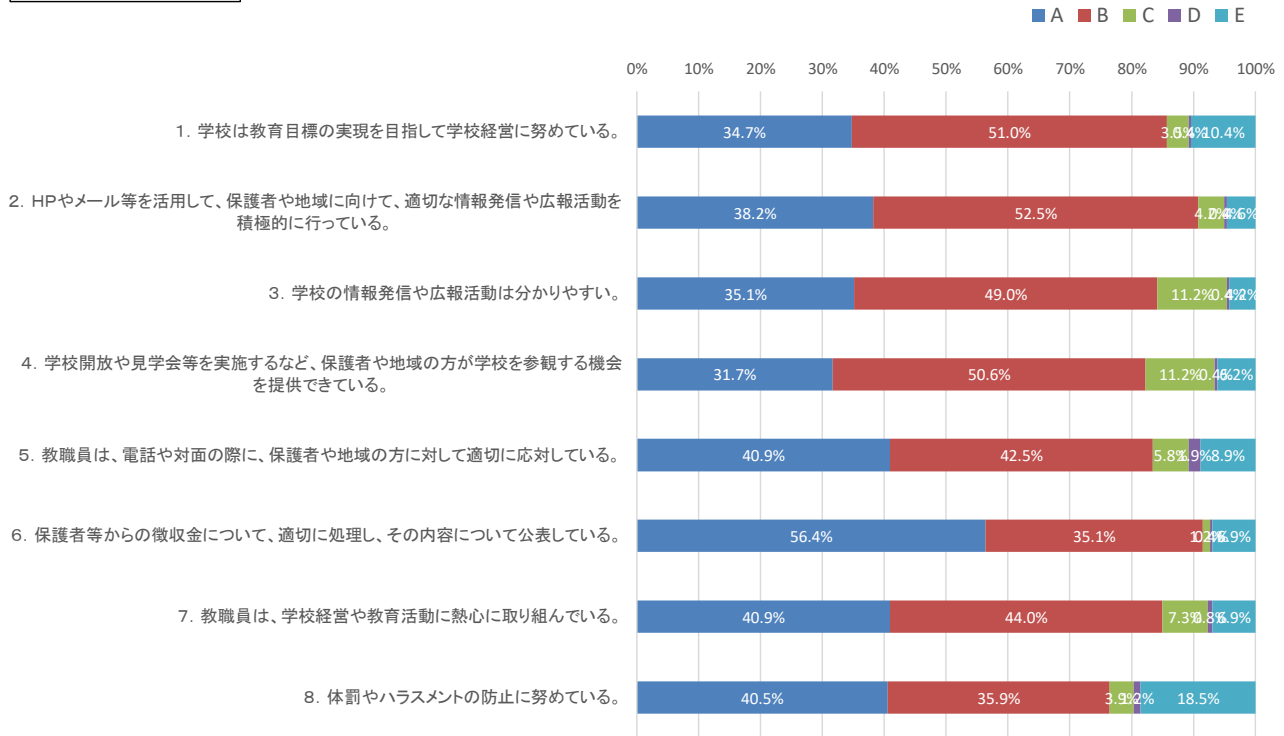
⇒昨年度と同様に、該当する3項目中2つが情報発信・広報活動に関するものであるが、昨年度と比べて数値的には良い方向に向かっている。昨年度から質問項目に変更があり、文言が変化した(令和5年度までの相当項目の文言は「本校は、通信やホームページ、一斉配信メールサービス(すぐメール等)を用いて、様々な情報を速やかに伝えている。」)影響の可能性を踏まえて、来年度は同様な内容で、別の表現を用いてわかりやすい質問としてはどうか。

# 令和7年度 保護者等を対象とするアンケート(7月実施) 結果

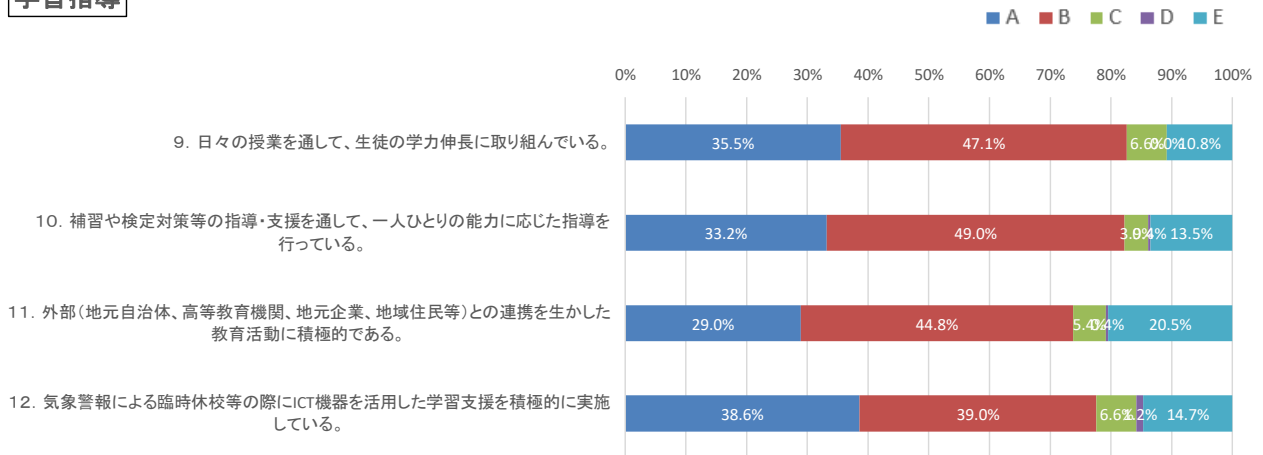
有効回答数259件(回答率72.5%)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない E:わからない

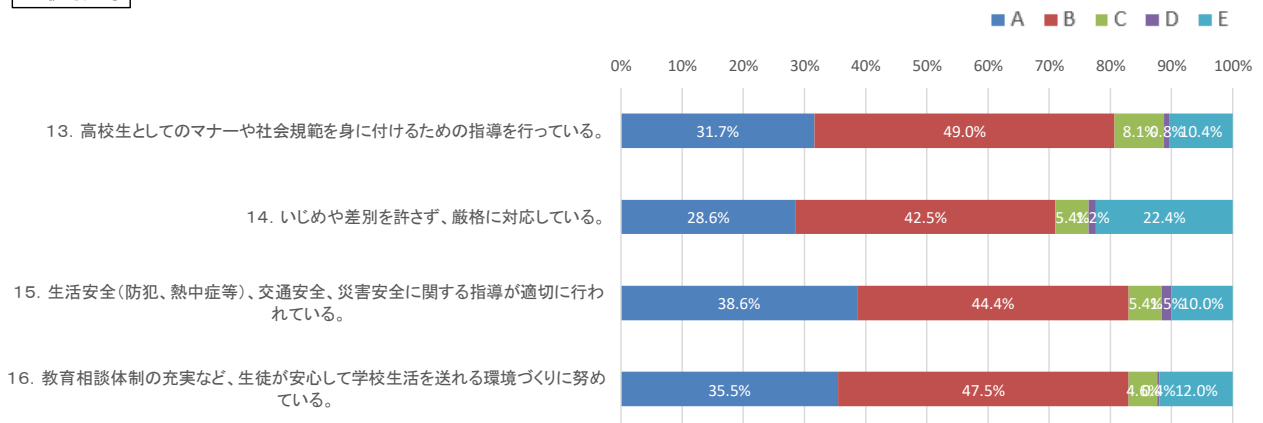
## 開かれた学校づくり



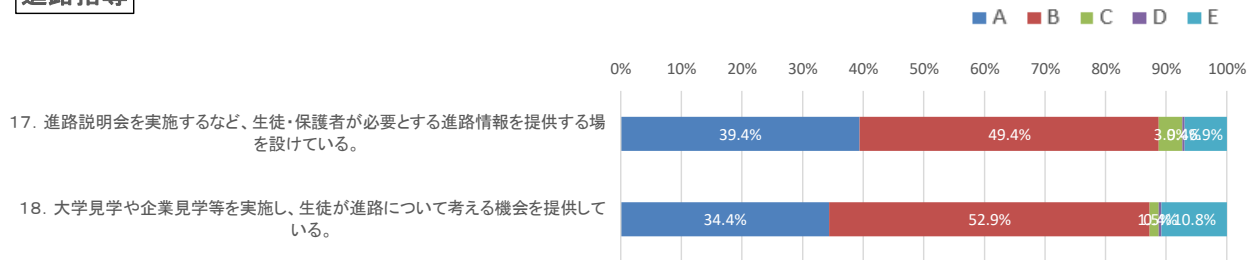
## 学習指導



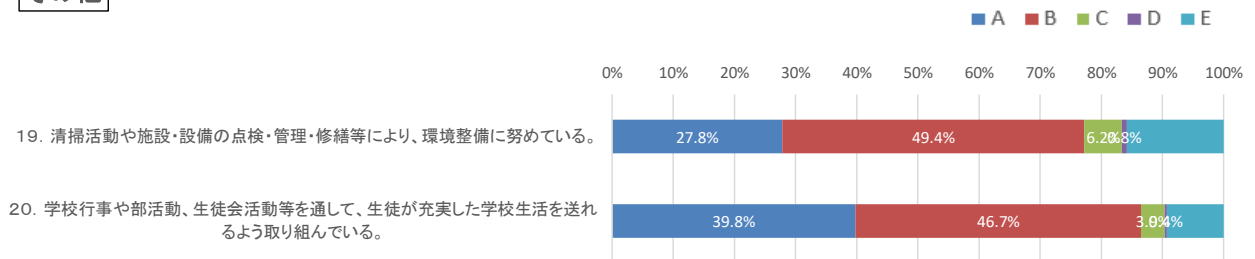
## 生徒指導



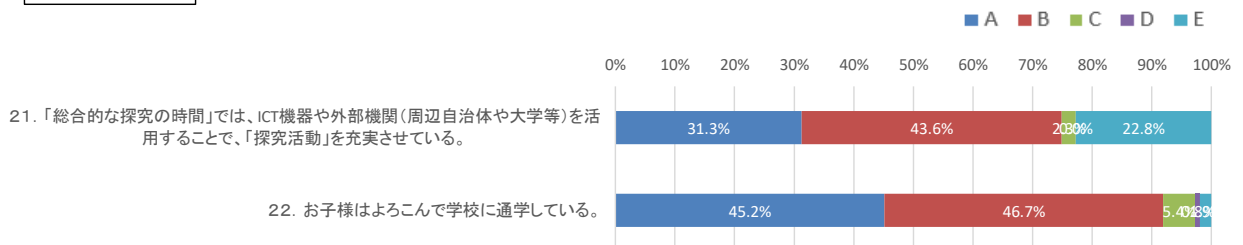
## 進路指導



## その他



## 学校独自項目



### 【肯定的評価が90%以上の項目】

6. 保護者等からの徴収金について、適切に処理し、その内容について公表している。(92%)

22. お子様はよろこんで学校に通学している。(92%)

⇒昨年度アンケートの結果と比較し、22項目中17項目で肯定的評価の割合が増加している。中でも、項目10「補習や検定対策等の指導・支援を通して、一人ひとりの能力に応じた指導を行っている。」、項目11「外部(地元自治体、高等教育機関、地元企業、地域住民等)との連携を生かした教育活動に積極的である。」、項目21「『総合的な探究の時間』では、ICT機器や外部機関(周辺自治体や大学等)を活用することで、「探究活動」を充実させている。」については、肯定的評価が昨年度から約10%程度上昇している、

### 【肯定的評価が75%未満の項目】

11. 外部(地元自治体、高等教育機関、地元企業、地域住民等)との連携を生かした教育活動に積極的である。(65%→74%)

14. いじめや差別を許さず、厳格に対応している。(66%→71%)

⇒両項目については、「E:わからない」と回答している率も高く、今後も学校生活や学習内容、また日頃の生徒指導に等についてより積極的に保護者の理解に努めることが肝要であると思われる。